

平成 28 年度一橋大学法科大学院入学者選抜試験

## 小 論 文

・ 解答上の注意

1. 問題文は 10 頁、解答用紙は 1 枚（表・裏）、下書き用紙は 1 枚です。
2. 解答用紙に、一橋大学の受験番号を記入してください。氏名は絶対に記入しないでください。
3. 解答は横書きにしてください。
4. 解答用紙は、受験番号を記入する面が表になります。問 1 を表に、問 2 を裏に解答してください。解答用紙は、白紙である場合も含め、すべて提出してください。
5. 解答用紙の追加、交換はしません。
6. 解答用紙の余白は採点者が使用するので、誤字脱字の訂正のほかは使わないでください。
7. 問題の内容についての質問には、応じません。
8. 試験終了後、問題文と下書き用紙は、持ち帰ってください。

## 問題

[問題文] を読んで、次の問いに答えなさい。

問1 下線部「情報システムの観点からすると、メートル法は命名法である」とはどのようなことか。フランス革命以前の度量衡と比較したメートル法の特徴に言及しつつ説明しなさい。  
(句読点も1字と数え、800字以内とする。)

問2 メートル法の誕生に際して科学者が果たした役割についての筆者の考え方を踏まえつつ、現代社会が直面する問題を1つ挙げ、その解決に向けて科学が果たすべき役割について、あなたの考えを述べなさい。(句読点も1字と数え、1,000字以内とする。)

[問題文]

(この問題は著作権の関係により、文章の出典と引用箇所のみを表示します。)

【問題文は、ダニエル・リチャード・ヘッドリック（塚原東吾・隠岐さや香訳）『情報時代の到来—「理性と革命の時代」における知識のテクノロジー』（法政大学出版局、2011年6月刊行）P49～P61 [第2章 情報の組織化—科学の言葉] からの抜粋である。原文の一部を省略し、表記を変更した箇所がある。】